

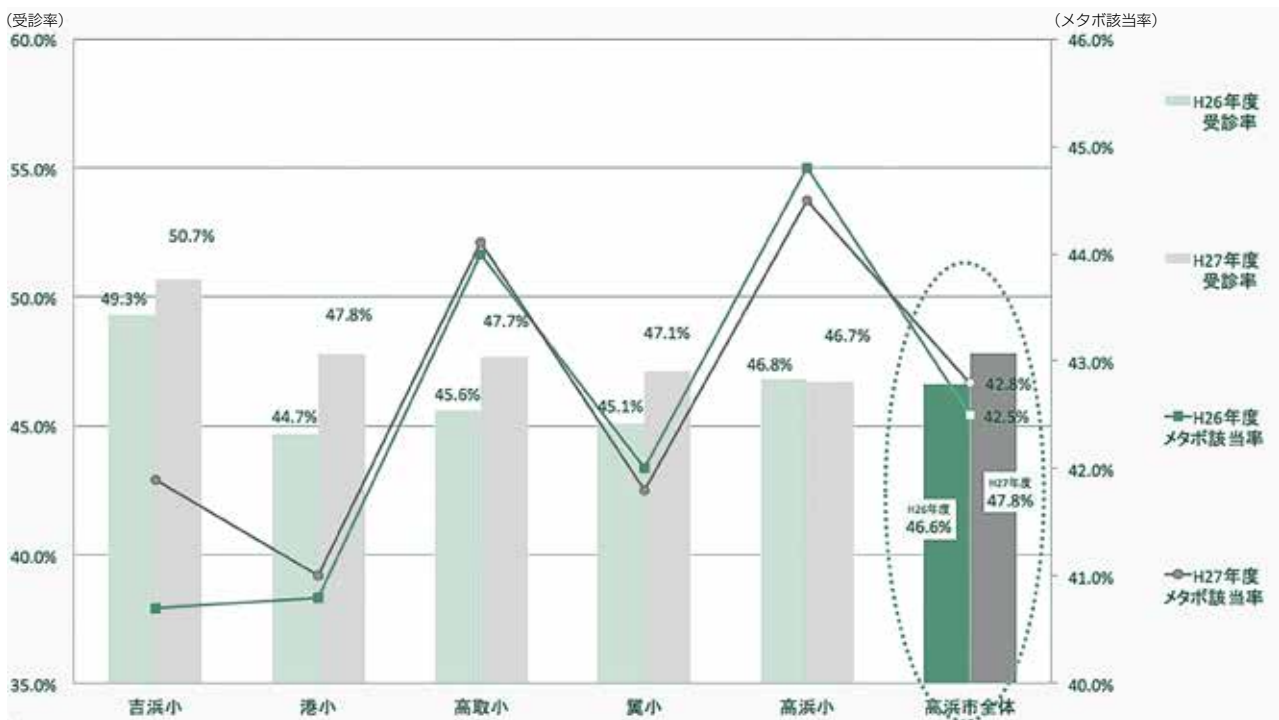
データヘルスで家族みんなの 「健やかさ」を応援します



「データヘルス計画」は、＜医療＞＜保健＞＜介護＞などの各種データをもとに加入者の健康対策を効果的に実施し「健康寿命の延伸」と「医療費の適正化」を図るための計画です。

今回は、特定健診受診率(以下「受診率」と)と健診の結果、メタボリック症候群に該当した人の割合(以下「メタボ該当率」)をグラフにまとめました。

学区別特定健診受診率・メタボリック症候群該当率推移(H26年度・H27年度比較)



市の「受診率」は H26年度の46.6%から、H27年度には47.8%に上昇しています。毎年少しずつではありますが、健診を受診される方が多くなっていることは「予防」「早期発見」「生活改善のチャンス」の観点から大変望ましいことです。

健診の結果をみると市のメタボ該当率は、H26年度42.5%、H27年度42.8%となっています。メタボリック症候群は、「腹囲の増加」に加え「血圧上昇」「血糖の上昇」「脂質の異常」のいずれか、もしくはすべてが基準以上になった状態です。メタボリック症候群の状態は、「生活習慣病発症の前段階」といわれていますが、生活習慣を変えることにより改善が見込まれます。

では、学区に目を向けると「受診率」「メタボ該当率」は学区により傾向が違うようです。あなたの住んでいる学区の傾向は、いかがですか？

健診受診も、メタボ改善のための取り組みも、あなたが近所の方といっしょに始めると、次の年のこのグラフに変化がみられるかもしれません。また、もうすでに近所・学区で「健康づくり」に取り組んでいるところでは、「今の活動にちょっとひと工夫」を追加することで、もっと効果的な取り組みになっていきます。「ちょっとひと工夫」の情報は、市役所市民窓口グループ・いきいき広場内保健福祉グループの保健師に相談してください。保健福祉グループでは、あなたの学区専属保健師(マイ保健師)と、「とっておきのちょっとひと工夫」の相談ができます。

問合せ先・市市民窓口グループ ☎ 52-1111 (内線 279)
・いきいき広場内保健福祉グループ ☎ 52-9871